

(代表質問)

質問日	令和5年9月28日(木)		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	31	氏名	加茂 俊武
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 幸福度ランキングとウェルビーイングについて	<p>自由民主党浜松は、市民が幸せを実感できるウェルビーイング指標に基づいた政策、計画について提言をしている。ウェルビーイング (Well-Being) とは、「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」である。市民が良好な状態を実感できる政策、事業を進めることが大切である。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 幸福度ランキングの分析結果と、ウェルビーイングアンケートの結果と分析について、市長の所感を伺う。</p> <p>(2) 浜松市総合計画第2次推進プランについて、どのようにウェルビーイングの視点を取り入れ、市民が実感できる計画としていくのか伺う。</p>					中野市長	
2 短期的な計画について	<p>(1) 戦略計画について</p> <p>中長期の計画を示し、理想に向かい進んでいくために、具体的な政策と適正な予算編成が必要となる。</p> <p>市長就任5か月で、しかも予算編成に関わっていない状態で市長の独自政策を示すことは困難であると思われるが、2024年度の戦略計画においては、市長の思いを示す必要があると思っている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>ア 2024年度の戦略計画の基本方針において特に市長が市民に伝えたい思いを伺う。そして、市長が政策、事業の立案において職員に求めるものを伺う。</p> <p>イ 市民のウェルビーイング実現のためには、政策事業立案を担う職員の意識改革が必要である。ウェルビーイングの視点での政策事業立案における職員の意識向上の方策について考えを伺う。</p> <p>ウ 政策効果の見える化が言われて、かなりの年数が経過した。非常に大切なことであるが、評価のための目標設定になつては意味がない。形式的にならないこと、職員の業務効率化の観点などを鑑み、目標と評価の在り方について考えを伺う。</p> <p>(2) 令和6年度予算編成方針について</p> <p>廃止、見直しという言葉が、ここ数年の予算編成方針では多く見られていたが、令和6年度予算編成方針における市長の思いを伺う。</p>					<p>中野市長</p> <p>田中総務部長</p> <p>石坂企画調整部長</p> <p>中野市長</p>	
3 市民の安全・安心について	<p>本市では、2022年9月の台風第15号、本年6月の豪雨災害など、想像を超える災害が発生しており、市民の安</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>全・安心を守ることは、地方公共団体の重要な役割である。</p> <p>また、災害対応と併せ、交通事故ワースト1脱出についても長年の課題であり、歩道、道路などのハード対策も重要な役割を担っている。</p> <p>そこで、市民の安全・安心について以下伺う。</p> <p>(1) 災害時の対応について以下伺う。</p> <p>ア 本年の6月豪雨の際には、ある地区では社会福祉協議会が各地を回り、支援が必要なお宅を訪問した。大変ありがたいことであり、頭が下がる思いであった。しかし、地域により対応に違いがあったとも聞いている。そこで、災害時における社会福祉協議会との連携について伺う。</p> <p>イ 災害対応に当たり、庁内各部署における情報の一元化、DX化について及び社会福祉協議会などの他組織との情報共有について伺う。</p> <p>ウ 行政区再編後には、市内4か所の行政センターに地域本部が置かれる。行政センター長が地域本部長を務めるが、役割は大変重要である。再編後の地域本部長の役割と、地域本部と区本部の連携、並びに区本部と災害対策本部の連携について伺う。</p> <p>(2) 近年の激甚化する水災害を踏まえ、過去の被災箇所の徹底した原因究明をすべきと考えるがどうか。またそれを受け、被災実績箇所における排水機場、水門、調整池整備など、雨水対策計画の見直しなどの今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 道路、歩道の安全・安心についても地方公共団体の役割である。歩道整備要望に対する進捗状況と今後の方針について伺う。また、歩道整備のみでなく、中規模要望全体に対する進捗状況と今後の方針について伺う。</p>	<p>鈴木健康福祉部長</p> <p>石田危機管理監</p> <p>〃</p> <p>伏木土木部長</p> <p>〃</p>
<p>4 行政区再編について</p>	<p>長年議論が続けられてきた行政区再編は、2024年1月1日から3区体制による新たな区制が施行される。</p> <p>行政区再編の意義、目的は非常に重要であり、しっかりと果たさなくてはならない。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 各区での行政需要の変化も考えられるが、市民の混乱を招かないための職員配置について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) コミュニティ担当職員は、地域住民の人たちの最も身近な相談窓口として、地域の課題を把握し、寄り添った支援を行うとしている。コミュニティ担当職員の役割と増員時期について伺う。</p> <p>また、行政区再編の目的の一つに、住民自治の強化が挙げられている。地域で活動する様々なコミュニティ団</p>	<p>田中総務部長</p> <p>新谷市民部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>体は、自治会組織と同様に住民自治の強化に欠かせない団体が数多く存在する。今後、地域運営組織の必要性、重要性が問われる中、補助金、負担金などを活用し、住民自治を支えていかざるを得ない場合があるのではないかと。今後の方針を伺う。</p> <p>(3) 再編後の福祉サービスの提供体制について、一部の地域以外は、現行の7区体制であることが決定している。再編の議論中、よく耳にした言葉がアウトリーチである。そこで、再編後の福祉サービスのアウトリーチの体制や考え方について伺う。</p>	鈴木健康福祉部長
5 子どもの権利に関する条例の制定について	<p>本年4月に、子ども政策の司令塔を担う、こども家庭庁が創設されるとともに、子ども施策の基本理念や基本となる事項を定めた「こども基本法」が施行された。</p> <p>こども基本法の基本理念は、児童の権利に関する条約の趣旨を踏まえたものであり、地方自治体は、この基本理念にのっとり、子ども施策を策定・実施する責務がある。</p> <p>また、いじめや不登校、児童虐待が増加するなど、子どもの権利擁護の重要性について、社会の機運が高まっている。</p> <p>そこで、こども基本法の基本理念も踏まえ、「子どもの権利」に関する条例を制定すべきと考えるが、見解を伺う。</p>	中野市長
6 若者の転出減、転入増対策について	<p>市長は、人口減少、人口流出、少子高齢化を課題に挙げている。</p> <p>そこで、若者の流出を極力減らすための施策として、以下について伺う。</p> <p>(1) IT系人材が本市から流出していくことは、大きな損失である。5月定例会において、IT企業誘致についての質問に対し、IT系人材の確保について企業誘致チームを立ち上げ、早急に「IT企業誘致戦略」を策定するとの答弁であったが、現状を伺う。</p> <p>(2) 音楽系の高等教育機関のない音楽のまち浜松は、大変寂しく感じる。5月定例会には、IT系高等教育機関についての質問があったが、今回は音楽系についてである。音楽のまち浜松で音楽を職業とする機会が少なく、また高校から大学への進学では必ず他市へ行くこととなる。そこで、音楽を志す若者が本市に集い、学びたいような音楽系高等教育機関の設立や、魅力的な講座開設などを行うべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(3) 若者にとっての魅力は、学びや職だけではない。まちとしての魅力も大切である。エンターテインメントやスポーツの観戦など、地域の魅力を高める施策について伺</p>	<p>北嶋産業部長</p> <p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>う。</p> <p>(4) 車を持ってない、持たない若者にとって、公共交通の利便性は、重要な要素となる。これまで公共交通は、運転免許の返納者など、高齢者向け施策として論じられてきたが、若者目線での公共交通について考えを伺う。</p>	井熊都市整備部長
7 市長の財政運営について	<p>5月定例会において、適正な市債管理としなやかな財政運営を念頭に、他の政令指定都市における中長期的な財政見通しの策定状況や、評価指標の考え方などを調査研究し、最適な投資を支えるような計画の在り方を含め検討するとの答弁があった。</p> <p>市長の言う、しなやかとは、文字どおり、柔軟で弾力性に富んでいると捉えると、財政健全化判断比率は注視するものの、本市の発展のため、市民のウェルビーイング実現のため、積極的な財政運営をしていくと考えたい。</p> <p>そこで、市長の財政運営について以下伺う。</p> <p>(1) 他政令市と比較し、本市の中期財政計画についての所感を伺う。</p> <p>(2) 企業会計の債務のうち、下水道事業会計においては、下水道が整備されていない地域もあり、この債務を市民1人当たりの債務に加えて計画を立てることは疑問に感じる。また市債ではあるが、基準財政需要額に算入される臨時財政対策債など、市債の中には、そうした交付税措置されるものも含まれている。</p> <p>そこで、市民1人当たりの市債残高の定義について所感を伺う。そして、今後の財政運営の方針について伺う。</p>	中野市長
8 人口減少対策から見る浜松の魅力アップについて	<p>本市においては、こども第一主義がうたわれて久しいが、出生率が上昇することはなく、社会全体の流れを食い止めることはできていないのが現状である。市長の掲げる課題である、人口減少を食い止めるためには、かなりの覚悟が必要である。</p> <p>そこで、本市の魅力アップによる人口減少対策への思いと、市内外への発信について伺う。</p>	中野市長